

大流行ノロウイルス防ぐには

この冬、ノロウイルス(NV)による感染性胃腸炎が大流行しています。これまで多かった生ガキなどによる「冬の食中毒」にかわって、人から人への感染が中心になっており、抵抗

専門家に聞く

対策の4力条

力が弱いお年寄りや幼い子が集まる施設は、集団発生を防ぐと手洗いの徹底などの対策に迫られています。身を守る方法を専門家に聞きました。

(十河朋子、中村通子)

- ① 加熱する
- ② 手を洗う
- ③ 汚物密閉
- ④ 塩素消毒

NV感染には、①食中毒タイプ②接触感染タイプ③空気感染タイプ—の三つがある。

「生ガキを食べたら、あたってしまつて」。これが①の典型的なパターンだ。国立感染症研究所によると、昨冬までは、食中毒型がNVによる感染性胃腸炎の半数近くを占めていた。

「下痢便のついたおむつを処理したあと、手を洗わなかった」。こんな行動は、②のタイプの感染を起こす危険性がとても高い。厚生労働省研究班が昨年、介護老人施設を調査した報告によると「おむつ交換をするたびに手を洗う」という施設は6割にとどまる。

今月上旬に東京・池袋のホテルで347人が発症した大規模集団感染は③にあたる。一人の客が廊下で吐き、ホテル側は普通の洗剤でふき取ったが、残った微量の吐物が乾燥し、ウイルスが空気中に漂い出して感染が広がった。NVは感染力が強く、微量でも発症する。このホテルでは吐いた場所を、翌日に通つただけで発症した人もいた。

ポイント2 手を洗う
トイレの後、調理の前には、忘れずに。せっけんをよく泡立て、流水で十分流そう。

ポイント3 密閉処理
おむつや吐物をふき取った紙類は、二重のポリ袋に密閉して捨てる。内側と外側の袋は、縛る口を上下互い違いにしよう。

ポイント4 塩素系漂白剤は強い味方
NVによる感染性胃腸炎にかかると、激しい嘔吐がよく起きる。吐物処理のこつを園にまどめた。一番大切なのは、乾燥させないこと。使い捨てのマスクと手袋を使えば理想的だ。

集団感染 昨年の9倍 大阪市内

大阪市内では15日現在、毒するアルコール容器を置いた写真。家族の集いで施設で集団感染が起きている。昨年同期の9倍だ。

「下痢、発熱、嘔吐などの症状がある人の面会はご遠慮ください」。大阪府内のある特別養護老人ホームでは、訪問者がNVを持ち込まないよう、玄関などに注意喚起のポスターを張つた。その脇には、手指を消毒を掛けるのをやめ、使

阪神間のある保育所で捨てたペーパータオルに替えた。タオルを介して感染が広がるのを防ぐためだ。12月になって下痢や嘔吐を訴える子は増えており、所長は「対策を徹底したい」と話す。



大阪市保健所の担当者は「例年なら冬休みに入ると少し落ち着く傾向にあるが油断はできない」と話す。

情報ここから

- 厚生労働省のホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>
「ノロウイルスに関するQ & A」 ウィルスの特徴から症状、消毒法などを分かりやすく説明。
- 東京都健康安全研究センターのホームページ

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/norindex.html>
「個人でできる予防方法」正しい手洗いや吐物処理のやり方を、写真で紹介。 園「ノロウイルス現場対策」(丸山修、幸書房、税別1800円) 豊富な事例に基づきながら対策を説明しており、分かりやすい。

吐物の処理のコツ

●使い捨てマスク・手袋を着ける



●吐物を新聞紙で覆い、家庭用塩素系漂白剤を50倍に薄めた液を振りかける



●素早く厚手のポリ袋に入れ、2重に密閉

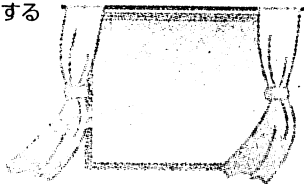


●塩素系漂白剤液でよくふく

(じゅうたんの場合は、色落ちしない程度に薄めた液を使い、吐物を取った後、薄め液に浸した紙で30分ほど覆う)

●使ったマスク、手袋、ペーパータオル類なども、密閉して捨てる

●部屋をよく換気する



家庭用塩素系漂白剤の薄め方

	濃度	10倍	50倍	250倍
	水	0.5%	2.5%	2.5%
家庭用塩素系漂白剤	キャップ	2杯	2杯	1/2杯弱